

【日本初上陸！フランスで精密に織り込まれたジブリ作品の大織物が広島に！】

「金曜ロードショーとジブリ展」広島展 特別展示 「ハウルの動く城」大型タペストリー 日本初公開

展示期間／2024年7月2日（火）～9月25日（水） 会場／広島県立美術館 ロビー

広島県立美術館に、フランス・オービュッソン国際タピスリー（タペストリー）センターで製作された「ハウルの動く城（夕暮れの動く城）」大型タペストリーを展示いたしました。7月13日（土）に開幕となる「金曜ロードショーとジブリ展」広島展に合わせた特別展示で、スタジオジブリ作品タペストリーシリーズの日本初上陸（「金曜ロードショーとジブリ展」の巡回においても広島限定展示）となります。

本日、一般公開に先立ち、オービュッソン国際タピスリーセンターの学芸員やスタジオジブリ関係者の立ち合いのもと、展示セレモニーを執り行いました。7月2日（火）より一般公開（無料展示）となりますので、ぜひこの機会にご鑑賞ください。



「ハウルの動く城（夕暮れの動く城）」タペストリー



© 2004 Diana Wynne Jones/Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, NDDMT

フランス中央部オービュッソンのタペストリーは、600年の伝統を誇り、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産にも登録されるなど、長い歴史と確かな技術を持つことで知られます。その織物文化を保存し広く伝える目的で発足したオービュッソン国際タピスリー（タペストリー）センターは、《オービュッソン、宮崎駿の空想世界をタピスリーに織る》プロジェクトを進めています。これまで「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」「ハウルの動く城（2点）」の計4点のタペストリーが完成しており、今後、「風の谷のナウシカ」「となりのトトロ」の2点が製作される予定です。

■ 作品名：ハウルの動く城（夕暮れの動く城）

■ サイズ：高さ5m×幅5m

■ 完成：2023年4月

■ 展示期間：7月2日（火）～9月25日（水） ※7月8日（月）のみ休館



展示に際して＜株式会社スタジオジブリ 野中晋輔 執行役員＞

タペストリーを製作したいと最初に連絡があったのは2018年。届いた情報を見て、信頼出来るところに違いない、素晴らしいものが出来るはずだ、と判断し「どう作るかはすべてお任せします」と返事をしました。本日、初めて実際にタペストリーを見て、本当にお受けして良かったと思いました。精巧ですが手作りならではの温かみがあり、大きいのでとても迫力があります。作品の世界観が伝わってきます。日本で初めて、この広島の地でご覧頂くことが出来るようになり、嬉しく感じております。

展示概要

【展示期間】2024年7月2日（火）～9月25日（水） ※7月8日（月）のみ休館

※「金曜ロードショーとジブリ展」の会期は、2024年7月13日（土）～9月23日（月・振休）

【展示会場】広島県立美術館 ロビー [〒730-0014 広島市中区上幟町2-22]

【開館時間】9:00～17:00（金曜日は20:00まで開館）

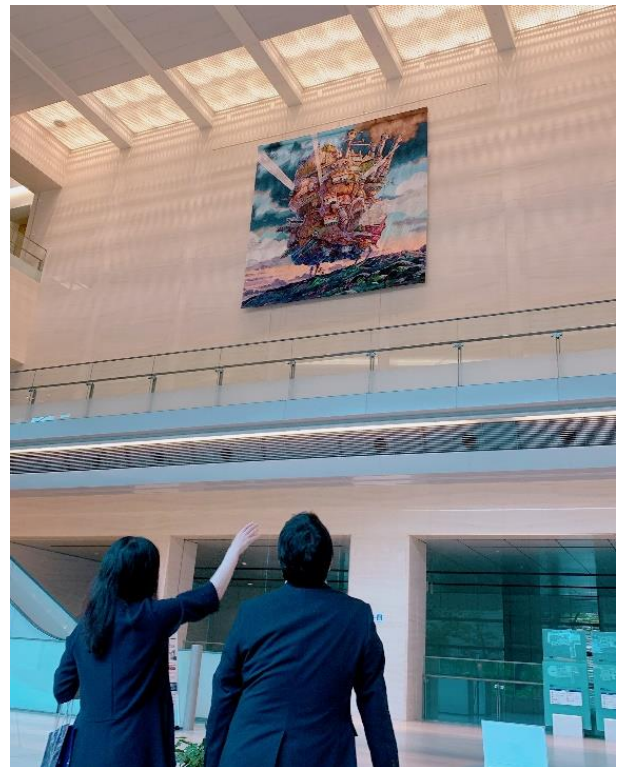
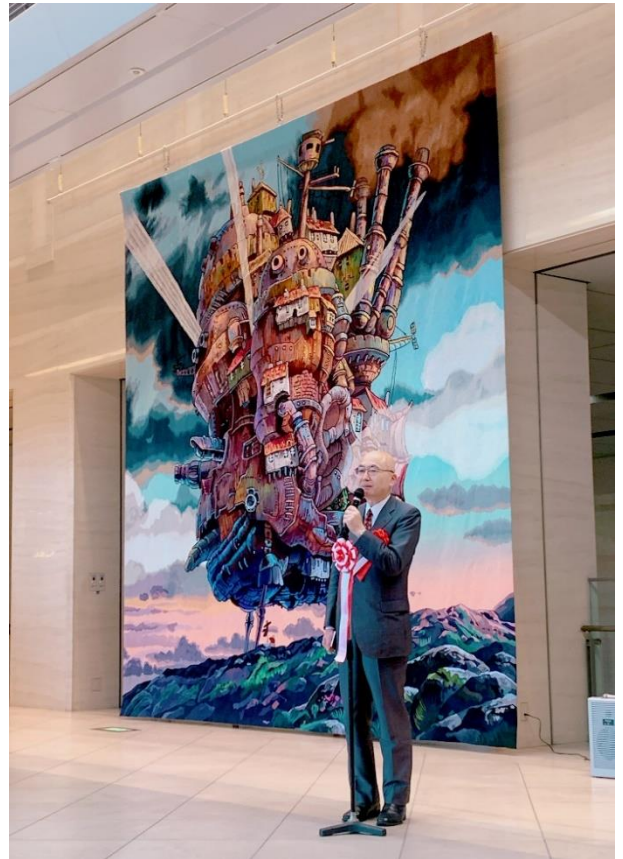
【料 金】無料 ※本展示はロビーでの展示となりますので展示会のチケットは不要です。

【お問合せ】広島県立美術館 082-221-6246

報道に関するお問合せ

広島県立美術館（広報担当） TEL / 082-221-6246 MAIL / iroeuma2@gmail.com

作品・展示・セレモニーの様子



© 2004 Diana Wynne Jones/Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, NDDMT